

調整中

# 世田谷区立図書館運営体制 あり方検討委員会報告書（素案）

令和3年1月

世田谷区立図書館運営体制あり方検討委員会

## 目 次

### 1．区立図書館運営体制の現状及び課題

- ・図書館ビジョンに基づく運営体制に関する経緯
- ・区立図書館の蔵書数、貸出数、新規登録者数、利用者アンケート調査結果(満足度等)、行政コストなどの館別の状況
- ・23区の運営体制の状況
- ・民間評価機関による区立図書館の分析・評価結果
- ・区立図書館運営体制の現状及び課題

### 2．区立図書館運営体制のめざすべき方向性

### 3．区立図書館の運営体制案の検討

- (1) 主な図書館サービスごとの棚卸しによる特徴
- (2) 区立図書館における運営体制の特徴
- (3) 区立図書館ごとの主な図書館サービスと運営体制案
- (4) 安定的な図書館運営を図るために必要な仕組み
- (5) 今後の図書館サービスのあり方

### 4．区立図書館運営体制の方針(たたき台)

### 5．方針に基づくその他の取り組み

- ・(仮称)図書館運営協議会の設置
- ・区のめざす今後の図書館サービス など

### 6．資料編

# 1. 区立図書館運営体制の現状及び課題

## 第2次図書館ビジョンに基づく取組み

<基本理念> 「知と学びと文化の情報拠点」

- <基本方針>
- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 0歳児からの読書を支える図書館 | 4 世田谷の魅力を収集・発信する図書館   |
| 2 大人の学びを豊かにする図書館  | 5 図書館ネットワークの構築        |
| 3 暮らしや仕事に役立つ図書館   | 6 専門性と効率性を両立した運営体制の構築 |

## 第2期行動計画（H30～R3年度）の重点プロジェクト

中央図書館の機能拡充と図書館ネットワークの推進

中央図書館機能拡充やICタグ全館導入、学校図書館との連携強化などによる図書館ネットワークの推進を図る。

レファレンスサービスの拡充

高度なレファレンスに対応するため、人材育成や大学図書館等との連携に取り組む。

子どもの成長に応じた切れ目のない読書支援

幼児から青少年に至る成長過程における読書支援の充実を図る。

区民の知識や情報を生かした区民参画の推進

ボランティア等の区民参画を進め、知識や経験を活用し、交流の推進を図る。

ニーズに応じた多様な運営体制の検討・推進

多様な運営形態による民間活力活用を計画的に推進する。

## 図書館運営体制の現状

（1）区職員による運営体制（直営）

### ・区職員（図書館勤務）の専門性維持が困難

司書資格者の確保が難しく（23区には専門職（司書）制度がない）、高齢化しており実務経験に乏しい（職員の平均年齢は50代半ば、40代以下は図書館経験が少ない）。研鑽・研修機会の確保ができていない。

### ・非常勤の図書館嘱託員のノウハウを活用

約3割強が司書資格あり。勤務年数が長く、地域図書館の窓口業務など職員と同様の活躍。

### ・区立図書館全体のマネジメント力強化が課題

公共性・専門性（選書・レファレンスなど）維持のために、区立図書館全体のマネジメント力強化が課題。

### ・サービス拡充が困難

人件費増や労務管理の課題により柔軟な職員シフトが組めず、開館日・時間拡大などのサービス拡充が困難。

（2）民間活用による運営体制

### ・サービスの拡充

開館日・時間拡大、民間のアイデア・ノウハウ活用によるサービス拡充が可能。

### ・民間事業者のマネジメント体制に課題

公共性を担保するための蔵書・レファレンス管理など、民間事業者のマネジメント体制に課題。

### ・専門性継承への懸念

民間事業者の低い人材定着率、事業者交代のリスクによる地域人材や運営のスキル・ノウハウの継承に課題。

### ・運営コスト（人件費）が低い

直営館と比較して、人件費が低い。

## 図書館運営・サービス（直営・民間活用共通）の現状

### ・地域連携・協力の取組みが不足

様々な区民ニーズ・地域特性に応じた地域資料収集・案内、地域の課題解決支援、連携イベントなど、地域との連携や協力の取組みが不足。

## 民間評価機関による分析・評価を踏まえた指摘・提言

### < 分析・評価を踏まえた指摘 >

#### ・指定管理館の安定的な運営と図書館ビジョンの推進

指定管理者は安定的な運営を行っており、他の直営館とともに図書館ビジョンを推進している。

#### ・中央図書館による統制がとれていない

中央図書館の職員が地域図書館の運営に直接関与する仕組みがなく、中央図書館による統制が取れていない。

#### ・各地域図書館の取組みにバラつきがある

図書館ビジョン実現に向けた事業推進の進捗や運営水準が、各館の裁量にゆだねられており差が生じている。

運営体制検討についての評価機関の提言

世田谷区全体での取組みと地域図書館独自の取組みを両輪で回し、定期的に外部からの確認をすることが有用

中央図書館の統制機能を強化するための体制や仕組みの整備

運営協議会といった外部組織や内部組織による運営体制のモニタリング

事業推進や刷新のための地域図書館独自の取組みの強化とそれに対する事業評価

図書館ビジョンの基本理念では『知と学びと文化の情報拠点』を実現するために、地域の団体等との連携や地域の特色を活かした取組みなどを進め、良好な実践例を世田谷区全体に取り入れるべきである。しかし、実現に要するコストや人材、時間等を総合的に検討し、区民にとってよりよい図書館のあり方を選択するべきである。

### < 課題 > 区立図書館の安定的な運営とサービスの拡充を図るためには、以下のような課題がある。

公共性（選書等の蔵書管理、レファレンス管理など）継続・維持のための体制整備（中央図書館ガバナンス機能強化など）

図書館サービスの専門性維持のための人材確保・育成（区職員のスキルアップ、事業者交代のリスク回避など）

多様化する区民ニーズ・地域特性に応じた地域活性化の取組みの推進（地域資料の充実、地域との連携強化など）

図書館ビジョンの実現に向けた安定的な図書館運営とサービスの充実のため、図書館ビジョンを評価する仕組みの整備（運営協議会やモニタリングなど）

前提として、区の財源不足や重点分野への人材配置に対応するため、民間活力の活用による低コスト・高付加価値のサービスと人的資源の有効活用による効率的な運営を図る必要がある。

## 2. 区立図書館運営体制のめざすべき方向性

### 【公共性・専門性の充実・継続等】

以下のような区立図書館としての公共性・専門性の継続・充実等を図る。

蔵書構築・レファレンス管理など中長期的な視点での公共性の継続

専門性維持のために、職員の選書やレファレンスなどの知識・経験の充実

民間事業者の施設運営で得たノウハウ（経験・知識、人材など）の継承

地域館のマネジメント力及び中央図書館のガバナンス機能の強化

取組みの方向性

組織体制の整備及び民間活力の活用、人材確保・育成の新たな仕組みづくりなどに取り組む必要がある。

○中央図書館を中心とした中長期的な視点での地域図書館の統括・調整など、区立図書館全体としての公共性・専門性を継続・充実するための組織体制の見直し

○指定管理者の業務要求水準書等で、有能な司書の確保を条件とし、民間事業者が施設運営で得たノウハウ・人材の継承と区職員司書の人材育成計画の策定など、新たな人材確保・育成の仕組みづくり

### 【多様化する地域の図書館ニーズ等への対応】

以下のような地域の図書館サービス充実に取り組む。

地域や施設の特性に応じた図書館サービスの充実

まちづくり・医療・福祉・子育て支援等の取組み（イベント・講座など）

取組みの方向性

地域との連携を強化する必要があるので、民間活力活用及び組織体制の整備を図る。

○地域特性や施設の立地環境等に合わせて、民間事業者の柔軟なアイデア・ノウハウの活用による図書館サービス（全国での経験に基づくサービス・イベント、カフェや託児施設の運営など）の充実

○行政職員の経験を活かした地域との連携強化の取組み（町会・自治会、商店街といった地域団体と連携した子どもへの読み聞かせ等のイベントや、レファレンス等の相談事業の取組みなど）

### 【安定的な図書館運営とサービスの充実】

以下のような安定的な図書館運営や図書館サービスの充実に図る。

図書館利用者やボランティア等の区民参画や、専門家の見識を活用した新たな図書館運営

社会情勢に応じた新たな図書館サービス（電子書籍等の非接触型サービス、AI 活用など）の導入

取組みの方向性

図書館運営・サービスを新たな仕組みで計画・評価する。

○区、中央図書館、区民や専門家による運営協議会、指定管理者などが分担し、図書館運営・サービス（指定管理や新たな図書館サービスの導入など）を計画・評価する仕組みの導入

### ３．区立図書館の運営体制案の検討

安定的な図書館運営及びサービス拡充を図るための運営体制案について検討する。

(１) 主な図書館サービスごとの棚卸しによる特徴

区分		主な図書館サービス	棚卸しによる特徴(「中央館」「地域館」どちらで実施、民間事業者(以下「民間」という。)による実施可否など)
A 資料等 管理		蔵書構成・蔵書構築( )(資料の選書・除籍等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的な視点での蔵書構築は「中央館」実施(「民間」は不可)</li> <li>・一次選書(要望)は「地域館」実施(「民間」も可)</li> </ul>
B 集会行事		おはなし会、テーマ展示、地域の特色を活かした地域連携事業など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性を活かすため「地域館」実施</li> <li>・他自治体での取り組み事例を迅速に取り入れることが可能なため「民間」も可</li> <li>・福祉やまちづくりなど行政の他部署との連携事業や中長期的な視点での事業は「中央館」が関与</li> </ul>
の 利用 者 サ ー ビ ス	C 1 基本 サ ー ビ ス	窓口運營業務(登録、予約・貸出・返却等)、レファレンス( )、書架整理、障害者サービスなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の基本サービスであるため、「地域館」実施、「民間」も可</li> <li>・簡易レファレンスは「地域館」(「民間」も可)、深い調査レファレンスやノウハウの蓄積・活用などの全体管理は「中央館」実施(「民間」は不可)</li> </ul>
	C 2 情報 サ ー ビ ス	ホームページ(HP)等による情報サービス(検索、予約、電子書籍など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP等のシステム管理及び全利用者向けの全館サービスは「中央館」実施</li> <li>・館個別のHPや館内広報(デジタルサイネージなど)は「地域館」実施、「民間」も可</li> </ul>
	C 3 非常時 等	行政情報(区の計画や注意情報等)の発信、災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全利用者向けの周知は「中央館」実施</li> <li>・館個別の情報は「地域館」実施、災害時、図書館は避難所ではなく初動対応のため「民間」も可</li> <li>・庁内連携や情報交換が不可欠なため「中央館」が関与</li> </ul>
の 施 設 サ ー ビ ス	D 1 時間	開館日・開館時間の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館個別の状況で「中央館」が導入判断、直営では人件費増や労務管理の課題があるため、柔軟な職員シフトが組みやすい「民間」のみ可</li> </ul>
	D 2 施設・ 設備	学習室、カフェ、多目的なサービス利用施設環境に影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館個別の状況で「中央館」が導入判断</li> <li>・カフェや閲覧席管理システム、書籍消毒機など、他自治体での取り組み事例や設備投資を迅速に取り入れることが可能な「民間」が導入しやすい</li> </ul>
E 内部業務		庶務(予算、契約、人材育成等)、通信・情報システム、施設管理、リスクマネジメントなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全館管理については「中央館」</li> <li>・個別対応は「地域館」、「民間」も可</li> </ul>

## (2) 区立図書館における運営体制の特徴について

### < 区職員による運営【直営】 >

#### メリット

- ・蔵書構築や資料選定、レファレンスなど、区立図書館に必要な知識・技能を、区職員が図書館業務に携わることにより専門性の育成・継承、公共性の確保が可能。
- ・中長期的視点で図書館運営（蔵書構築、レファレンス管理、地域連携等）が可能。

#### デメリット

- ・司書職人事制度がなく、図書館業務に精通した職員の高齢化や図書館経験の浅い職員の増により、専門性のある人材確保・育成と組織のマネジメント力強化が課題。
- ・人件費がかかるため区の財政を圧迫し、区の重要施策への職員配置を阻害する。
- ・開館日・時間拡大など、利用者の利便性向上といった柔軟なサービス拡充が困難。

- ・区立図書館全体で公共性・専門性を維持・継承していくために必要。
- ・中央館の機能強化に必須の体制。
- ・地域図書室などでの嘱託員活用。

### < 指定管理者制度 >

#### メリット

- ・施設環境や地域資源を活用したイベント、併設するカフェ等との一体的な運営など、自由度の高い運営が期待できる環境では、柔軟な発想・工夫による魅力創出が可能。
- ・低コストで、効率的な運営・サービス（窓口業務・整理業務等）専門性の確保（司書職割合維持）サービス拡充（開館日・時間の拡大や設備導入等の利便性向上の取組み、迅速な他自治体での取組み事例の導入など）などが可能。

#### デメリット

- ・指定管理期間満了に伴い事業者を変更した場合、運営ノウハウ等の継承に課題。
- ・中長期的視点で図書館運営（蔵書構築やレファレンス管理、地域連携など）に課題があるため、区立図書館全体として公共性・専門性を維持できる体制の確保が必要。

- ・民間事業者の創意工夫・スピード感を効果的に取り入れることができる立地や施設環境の地域館に適している。
- ・民間事業者を統括する中央館の機能強化が必須。

### < 窓口業務等一部委託 >

#### メリット

- ・区職員が現場で図書館運営の全体を把握し事業者管理を行いながら、実際の本の状態や動きを基にした選書・除籍、事業企画や地域連携などに注力できる体制が可能。
- ・比較的低コストで、効率的な運営（図書の貸出・返却等の窓口業務・整理業務等）専門性の確保（司書職割合維持）サービス拡充（開館日・時間の拡大や設備導入等の利便性向上の取組み）などが可能。

#### デメリット

- ・契約期間満了に伴い事業者を変更した場合、運営ノウハウ等の継承に課題。
- ・区職員が業務管理・指導を行っており、偽装請負に注意が必要。仕様に基づく業務が中心となるため、民間事業者の自由度やスピード感を活かした取組みが限定的。

- ・業務の効率化、コスト低減に効果あり
- ・業務を指導・管理する区職員が図書館運営に精通している必要あり（区職員人事に影響を受ける）

### < 全部業務委託 >

#### メリット

- ・低コストで、効率的な運営（図書の貸出・返却等の窓口業務・整理業務等）専門性の確保（司書職割合維持）サービス拡充（開館日・時間の拡大や設備導入等の利便性向上の取組み）などが可能。

#### デメリット

- ・契約期間満了に伴い事業者を変更した場合、運営ノウハウ等の継承に課題。
- ・仕様に基づく業務が中心となるため、民間事業者の自由度やスピード感を活かした取組みが困難。

- ・図書館カウンターなど、仕様に基づく業務中心の運営に効果が大きい。



( 3 ) 区立図書館ごとの主な図書館サービスと運営体制案

図書館種別	主な図書館サービス	運営体制案（直営、指定管理、委託）
中央 図書館	<p>中長期的な視点による蔵書構築やレファレンス管理、「地域館」の地域連携等を行政面からサポートする運営支援、全館の業務やサービスの全体調整などを行う。</p> <p>〔 A、B、C1、C2、C3、D2、E 〕</p> <p>現状は、各代表者による部会と館長会による全体調整</p>	<p>全館管理を行うため、「直営」とする。</p> <p>「地域館」の安定的な運営を図るマネジメント機能とガバナンス機能を強化する。また、区職員の専門性維持のための人材育成計画を策定する。</p> <p>C1 の窓口業務等の基本サービスは「委託」も可</p>
地域 図書館 ( 15 館 )	<p>「中央館」のマネジメントのもと、基本サービスや一次選書（要望）、簡易レファレンス、館個別の事業・サービスなどを、地域特性を活かしながら「地域館」で行う。</p> <p>D1、D2 などの施設ごとの環境によるサービスは、民間活用のタイミングなどで実施</p> <p>〔 (A)、B、C1、(C2)、(C3)、D1、D2、(E) 〕</p>	<p>・民間のノウハウやスピード感等を活かし、地域特性や利用者ニーズに応じた自由度の高い図書館サービスの充実を図ることができる館には、「指定管理」を導入する。</p> <p>・利便性や施設環境などから「指定管理」の利点が少ない館は、C1 の窓口業務等の基本サービスを「委託」とする。</p>
地域 図書室 ( 5 室 )	<p>「中央館」マネジメントのもと、窓口業務等の基本サービスを中心に行う。</p> <p>〔 (B)、C1 〕</p> <p>現状は担当館が管理</p>	<p>小規模で利便性も良くないなど、利用者が少ないため、「民間」の利点を活かさないで、当面は「直営（区職員の再任用職員、非常勤の嘱託員）」とする。</p>
図書館 カウンター ( 2 か所 )	<p>「中央館」マネジメントのもと、窓口業務等の基本サービスを中心に行う（利便性が良いので、開館日・時間拡大などは必須）。</p> <p>〔 C1、D1 〕</p> <p>現状は担当館が管理</p>	<p>利用者が多く、「民間」の利点を活かした利便性向上、サービスの効率化が必要であるため、現状と同様に「委託」とする。</p>

A ～ E の表記は、( 1 ) 主な図書館サービスごとの棚卸しによる特徴の区分を引用。



#### (4) 安定的な図書館運営を図るために必要な仕組みについて

図書館運営の安定化を図るため、ステージごとの管理を以下のように整理する。

##### 図書館ビジョン（計画）の管理（区民への責任）

- ・区の全体計画・評価を管理する政策経営部との連携（区組織では中央図書館）
- ・区民（利用者、ボランティア等）及び有識者等による点検・評価の恒常的機関の設置（運営協議会）

##### 図書館業務全体の管理（全利用者への責任）

- ・図書館ビジョンに則った、現場のよりよい展開のための中央図書館の体制整備（地域図書館との一体的展開によるマネジメントと、各館の独自性を引き出す現場中心のガバナンスの強化、計画的な人材確保・育成計画の策定などを図るための組織体制の見直し）

##### サービスの質の管理（個別の利用者への責任）

- ・サービスの質の向上のための人材確保・育成（研修（OJTを含む）、民間活用など）

##### 図書館ビジョンの実現に向けた計画・評価の仕組み

- ・全区立図書館について、区民や外部有識者等を活用した運営協議会などによる客観的な外部評価とモニタリング（利用者アンケート等）による内部評価の実施
- ・全館の図書館運営を管理・統括する機能を中央図書館の新体制として位置づけ職員の人材育成計画

民間活用の計画を踏まえながら中央図書館を中心に、区職員（正規職員、嘱託員）の実務経験のある有能な司書資格者の育成、研修等によるサービスの質の向上を図る人材育成計画を策定

#### (5) 今後の図書館サービスのあり方について

##### 【サービス拡充の視点と新たなサービス例】

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| ・ 学びの場・機会の提供             | 電子書籍、オンラインおはなし会、動画配信、専門レファレンス（行政職員 OB の活用、子どもレファレンスコーナーの設置）、学習室・テレワーク・会議・ものづくり利用の充実、大人向け区民企画講座 など |
| ・ 区民の利便性向上               | 返却ポスト増設、自動返却機等の設備導入、宅配サービス など   |
| ・ 集客・にぎわいづくり             | マンガ・DVD、カフェ、AI ロボットの設置・導入 など  |
| ・ 地域特性の活用など（地域連携や地域課題解決） | 商店街・行政機関との連携イベント（目利き講座、相談ブース）など   |
| ・ 知と文化の継承                | 地域資料の充実・発信（デジタル化）、地域人材の活用 など  |
| ・ 学校図書館との連携              | 教育委員会配付のタブレットへの図書館 HP（子どもページ）のリンク、夏休み子ども図書館、子ども司書 など  |
| ・ 財政負担の軽減                | クラウドファンディングによる資料充実、新たな資料寄付制度 など   |

4.区立図書館運営体制の方針（たたき台）

新たな区立図書館の体制（システム）イメージ

中央図書館（直営（窓口業務等一部委託も可））

中央図書館としての運営（職員のスキル（選書・レファレンスなど）向上）に加え、地域図書館をマネジメントする機能を新体制として位置づけ、ガバナンス機能の強化を図る（公共性・専門性維持のため直営が基本）。

- ・集中選書方式などによる蔵書構築  
地域図書館は一次選書（要望）を行い、中央図書館で決定・管理する。
- ・レファレンスセンターなどによるレファレンス管理  
地域図書館は簡易レファレンス中心に行い、対応できないものは中央図書館で調査・回答のうえ、事例の蓄積・活用を一括管理する。
- ・運営協議会と連携した計画・評価  
図書館ビジョンの計画策定・管理や評価（区民意見アンケートやモニタリング調査など）を、区（政策経営部）及び（仮称）図書館運営協議会（下記参照）と連携・調整して行う。
- ・地域図書館の運営支援（民間活用を含む）  
指定管理の導入調整のほか、地域図書館の運営を行政面からサポートするなど、全館をマネジメントする。
- ・人材育成計画による管理（司書育成など）  
区職員（正規・非常勤）司書を計画的に育成・配置し、館長・副館長研修、新たな研修制度などによる人材育成を図る。

【中央図書館組織イメージ】

全館統制機能		中央図書館運営機能		
計画・調整業務	サービス支援業務	庶務業務	運営業務	事業業務
全館庶務（予算、契約、文書等）	蔵書構築（集中選書）、レファレンス管理（調査、事例蓄積）	運営庶務	選書・除籍、レファレンス	子どもサービス
計画・評価（指定管理の導入、図書館運営協議会との調整）	運営管理（地域図書室、図書館カウンター）	嘱託員管理	窓口業務等サービス	大人向け講座・イベント
人材育成計画・管理（司書育成）	運営支援（地域連携事業、課題解決、民間事業者調達・運営）		その他運営業務（障害者サービス、団体貸出など）	
施設管理（改築、改修、維持管理）	通信・情報システム管理（HP・資料管理等）			

中央図書館が管理

地域図書室（直営）  
当面は、区職員（再任用職員・嘱託員）による運営とし、現状のサービス維持を図る。

図書館カウンター（委託）  
継続して民間事業者への業務委託を行う。

（仮称）図書館運営協議会の設置

中央図書館が運営をマネジメント

地域図書館（指定管理、窓口業務等一部委託、直営）

業務の効率化を図りながら、民間のノウハウやスピード感等を活かし、地域特性や利用者ニーズに応じた自由度の高い図書館サービスを展開する。

- ・業務の効率化・統一化  
地域資料を含め選書は一次選書（要望）、レファレンスは簡易レファレンス中心に行う。
- ・地域連携事業の推進  
中央図書館のマネジメントのもと、民間事業者の豊富なノウハウなどを活かした地域特性に応じた地域連携事業などを行う。
- ・専門性の維持・継承  
中央図書館のマネジメントのもと、民間事業者との協定書や業務要求水準書に、司書の質の確保・継続について規定し、専門性を維持・継承する。
- ・運営の安定化  
図書館ビジョン実現に向け、モニタリングや（仮称）運営協議会の評価などを行う。

【民間活用導入の考え方】

○指定管理を導入する館について  
以下のような効果が見込まれる館には指定管理を導入する。

- ・経堂図書館など駅から近く、多くの集客が見込まれるため、開館日・時間拡大や運営業務の効率化が必要な館など（効率運営型）
- ・施設面積の広い館や改築館などで、民間事業者の提案などにより施設のポテンシャルが向上する館など（施設活用型）
- ・民間事業者の新たな視点による地域連携を進めることで、サービス拡充が見込まれる館など（地域連携型）

○指定管理を導入しない館について  
立地条件等により、民間事業者の手が上まらない場合などは、窓口業務等一部委託とする。

- ・駅から離れている小規模館などで定型的な業務が中心となる館など（窓口業務等一部委託）

【民間活用を進める課題】

- ・協定等で民間事業者交替におけるノウハウを継続（司書スタッフの継続雇用、データベース等の引継ぎなど）する仕組みを検討する必要がある。
  - ・指定管理者の競争意識や倒産等のリスク回避の観点から、いくつかのグループに分けた募集・運営するなど、運用方法の検討が必要である。
  - ・会計年度任用職員（嘱託員）の配置状況を勘案すると、人事政策上、移行までの間は直営館を維持する必要があるため、民間活用を計画的に順次導入していく必要がある。
  - ・人材育成計画の取組みには時間がかかるため、短期・長期の視点による検討が必要である。
- ・（仮称）図書館運営協議会の意見や評価結果を、各館の運営や計画に反映していくための運営協議会の権限や仕組み、構成員を検討する必要がある。

図書館ビジョンの基本理念「知と学びと文化の情報拠点」を実現していくために、新たな運営体制における図書館サービスを推進していく。

## 5 . 方針に基づくその他の取組み

### ( 1 ) ( 仮称 ) 図書館運営協議会の設置・活用

【目的】利用者の視点を入れ、区民区立図書館運営を恒常的にチェック・評価することで、利用者ニーズに即した図書館運営・サービスの質の安定化などを図ることができる。

【構成メンバー】区民（利用者）、有識者、学校図書館、地域団体、指定管理事業者等により組織

【活動内容】図書館ビジョンに基づく取組みの各館の実施状況の評価、計画策定時や指定管理者選定時の意見聴取など（年4回程度開催（事務局は中央図書館））。

### ( 2 ) 区のめざす今後の図書館サービス

#### 【サービス拡充の視点と新たなサービス例】

- ・ 学びの場・機会の提供      電子書籍、オンラインおはなし会、動画配信、専門レファレンス（行政職員OBの活用、子どもレファレンスコーナーの設置）、学習室・テレワーク・会議・ものづくり利用の充実、大人向け区民企画講座 など
- ・ 区民の利便性向上      返却ポスト増設、自動返却機等の設備導入、宅配サービス など
- ・ 集客・にぎわいづくり      マンガ・DVD、カフェ、AIロボットの設置・導入 など
- ・ 地域特性の活用など（地域連携や地域課題解決）      商店街・行政機関との連携イベント（目利き講座、相談ブース）など
- ・ 知と文化の継承      地域資料の充実・発信（デジタル化）、地域人材の活用 など
- ・ 学校図書館との連携      教育委員会配付のタブレットへの図書館HP（子どもページ）のリンク、夏休み子ども図書館、子ども司書 など
- ・ 財政負担の軽減      クラウドファンディングによる資料充実、新たな資料寄付制度 など